

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



新年明けまして おめでとうございます

日頃から、皆様方におかれては、思川開発建設事業につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、思川開発事業は、地元関係者の皆様、鹿沼市、栃木県などの関係の皆様のご協力を得て、県道の付け替え工事や工事用道路等の準備工事も進捗し、ダム本体工事や導水路工事の着手を目前に控えておりましたが、ご存知のとおり、ダム事業の検証の対象となり、現在は付替県道工事の一部のみを実施している状況にあります。

その付替道路については、昨年8月の7号橋の完成で、付替県道の起点部（杓子沢地内）から、南摩ダムサイト予定地の中村地区までの間が道路としてつながりました。現在、道路舗装等の最後の仕上げを行っているところです。

引き続き、残りの付替県道工事や工事用進入路、工事によって発生する土砂置場の整備についても、関係各位のご理解をいただきながら、鋭意進めていきたいと考えております。

いわゆる「ダム検証」につきましては、関東地方整備局と連携してこれまでに3回の幹事会を行い、進捗を図ってまいりました。今後もできるだけ早く「ダム検証」の結論が得られますように一層努力してまいります。

当事業は、ダム建設に加え、他の流域からの導水を行う等の大規模な事業で、環境にも配慮しながら、多くの皆様方のご理解とご協力をいただき、進めさせていただいております。私たち思川開発建設所職員一同は、この「思川だより」を始めとして、さまざまな機会を通じて地域の皆様方への情報発信に努めるとともに、皆様方のご意見を伺い、少しでもそのお役に立てるよう、今年も精一杯頑張っております。今年も、引き続き皆様方からの暖かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成26年元旦

独立行政法人水資源機構

思川開発建設所長 桜井 力



工事進捗状況報告

付替県道杓子沢工区他整備工事が進んでいます



思川開発建設所では、杓子沢地内から中村地区までの区間で1件、粟沢地内で1件の県道(上久我栃木線)の付替工事を行っています。

このうち、今回、ご紹介する杓子沢地内から中村地区までの区間では、道路としての仕上げの工事を行っており、現在、杓子沢地内にて、道路の山側法面にコンクリートブロック擁壁の築造工事を行っています。

【ブロック擁壁の築造工事】 また、この工事区間では、これから2月から3月にかけて、道路舗装工事を行う予定です。この舗装の施工範囲には、この地域にお住まいの皆様の生活道路としての区間も含まれますので、施工に当たっては、極力ご不便をおかけしない様に行いたいと考えております(工事の状況報告や今後の予定については、付替県道脇の掲示板にてお知らせしています。2月から予定している道路舗装工事については、近くにお住まいの皆様に対して、個別にご連絡いたします)。

この工事を含めて、当建設所が行う全ての工事に関係する工事用車両等の公道通行時のマナー等については、当建設所職員はもとより、工事関係者に周知徹底するように指導を行っているところです。

工事期間中、何かとご不便をおかけするかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



【工事内容をお知らせする掲示板】

身近な「気象」について、勉強！！

平成25年度思川開発建設所環境学習会が開催されました

去る11月28日、平成25年度の思川開発建設所環境学習会を開催しました。

この学習会は、平成14年度から始まり、地域環境の保全、地域住民の皆様への環境保全に関する知識の啓発並びに機構事業及び環境保全への取組に対する地域住民の皆様から理解を得ることを目的に、取り組んでいるものです。

当建設所では、毎年この学習会を開催するとともに、



【栃木県の気象の特徴は？】

環境保全協議会を毎月開催するなど、職員や工事関係者に対し、環境への意識の向上を図っています。



【環境学習会の様子】

今年環境学習会では、私たちの生活の中で身近な自然現象である「気象」について、宇都宮地方気象台から講師をお招きし、「温暖化による気候への影響と近年の県内気象状況の特徴（栗野地域を含む県南西部の気象や集中豪雨、竜巻、洪水被害など）」、「特別警報の運用開始について」、「天気図と観天望気について」の3題の講演をいただきました。

最近、全国的に集中豪雨や竜巻などの気象災害が頻繁に発生している中で、災害が比較的少ないと言われている栃木県でも、平成10年8月の「那須豪雨」や鹿沼市内において昨年7月の豪雨による浸水被害や9月の竜巻の発生など記憶に新しいところで、タイムリーな話題に参加者は真剣に耳を傾けていました。

今回の学習会を通して、「気象」がより身近な自然対象となったことと思います。

今後も当建設所では環境学習会や環境保全協議会を通じて、職員はもとより、工事関係者の環境意識の向上を図っていきたくと考えています。

木造の公共建築物工事を見学しました！！

鹿沼市立栗野第一小学校建築工事見学

鹿沼市では、地元材を使い、公共施設の木造・木質化を進めており、思川開発建設所（鹿沼市口栗野）に隣接する同市立栗野第一小学校の校舎改築においても、現在、木造での整備を進めています。整備される新校舎は、木造（一部鉄骨造）2階建て延べ面積約3,000㎡で、なかなか見学する機会のない大規模な木造建築工事であることから、鹿沼市の格別のご厚意により、当建設所職員がこの工事現場を見学させていた



【工事が進む新木造校舎】



【ここが廊下と教室に】

いただきました。

市担当者のご説明では、使用される木材は、地元栗野産材が使用されており、今年度完成予定とのこと。また、校舎に引き続き、屋内運動場も木造にて整備されるとのことです。

「木工のまち かぬま」にふさわしい新校舎が、無事完成することを祈念し、見学を終わりました。

上南摩「季節の風景」

そばまつり

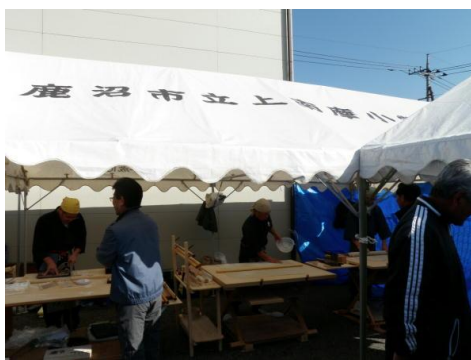


晩秋の鹿沼では、秋そばの収穫が終わる頃、市内各地でそば祭りが開かれます。市内有数のそば処である上南摩でも、去る11月17日、そば祭りが開催されました。今回で6回目となるこの催しは、地元の方々による100%地元産新そば粉を使用したそば打ちの実演・販売のほか、昔ながらの杵臼による餅つき、農産物直売などがあり、地域ぐるみのそば祭りに、会場になった上南摩自治公民館は、大勢の人でにぎわいました。



【新そばを求めて長い行列が・・・】

このお祭りの実行委員会代表の青木圭一さんは、「この催しを通じて、地域の活性化と連帯を図るとともに、上南摩そばのブランド化が推進できれば」と話していました。



【地元そば打ち名人の方々】



【杵臼によるお餅つき】

職員の異動（転出及び転入のご紹介）

前回第42号掲載以降、当建設所職員の異動は、ありませんでした。

編集 後記

謹賀新年 皆様には、いかが新年を迎えられましたか。

早朝、鹿沼市内黒川河畔から見える雪化粧した男体山を始め日光の山々は、朝日を受け、キラキラと輝いていました。新年を迎え、寒気のなか、気の引き締まる思いです。今年も宜しく願いいたします。

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289)85-1110 Fax (0289)85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/index.html>